

科目名	応用データ処理学 Applied Computer Engineering			担当教員	高橋 直己		
学 年	5年	学 期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分 野	専門	授業形式	実習	科目番号	15134047	単位区分	履修単位
学習目標	FORTRAN の基本事項、及び初級シスアドに関する基礎知識に加えて、表計算、文書作成、プレゼンテーション、及びCADに関する基本事項を理解し、建設工学へ適用できる能力を涵養する。						
進め方	コンピュータを用いた表計算、文章作成、プレゼンテーション、作図について説明した後、演習に取り組む。必要に応じてグループ学習を行う。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. はじめに (1) (本科目の位置付け、授業内容と成績評価方法)			<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを構成するハードウェア・ソフトウェアについて説明できる。 ・表計算ソフトウェアの基本的な使い方を理解している。 ・表計算ソフトウェアにより基本的なグラフが作成できる。 (B-2) [B-2, C-1, C-2]			
	2. 表計算 (15) (1) データ入力, セル参照, 数式, 関数 (2) 表・グラフの作成・編集 (3) 建設環境分野への適用, 課題演習 ----- [前期中間試験] (2)						
	3. 文書作成 (14) (1) 文字入力, 書式設定 (2) 図表の作成・編集, 数式 (3) 建設環境分野への適用, 課題演習			<ul style="list-style-type: none"> ・ワードプロセッサソフトウェアによる文書の作成ができる。 ・ワードプロセッサソフトウェアを利用し簡単な作画ができる。 (B-2) [B-2, C-1, C-2]			
	前期末試験						
	4. プレゼンテーション (16) (1) レイアウト, デザイン, 図表作成 (2) アニメーション, スライドショー (3) 建設環境分野への適用, 課題演習 ----- [後期中間試験] (2)			<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトウェアの基本的な使い方を理解している。 (B-2) [B-2, C-1, C-2]			
	5. 建設環境CAD (14) (1) 図面の作成・編集 (2) J I S規格, データベース (3) 建設環境分野への適用, 課題演習			<ul style="list-style-type: none"> ・CADハードウェアの種類を理解している。 ・CADソフトウェアの機能を理解している。 ・図形要素の作成と修正ができる。 ・画層の管理について理解している。 ・図面の出力(印刷)ができる。 (B-2) [B-2, C-1, C-2]			
後期末試験							
試験返却(1)							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・4回の試験結果を平均し、60点以上を合格とする。 ・各試験の成績は、定期試験を60%、課題を40%考慮に入れて評価する。 ・課題の評価は、その提出状況と内容をもとに総合評価する。 						
履修要件	特になし						
関連科目	応用情報処理 → 応用データ処理学 → 情報処理特論, 図学基礎, 建設工学設計製図 I						
教 材	配布プリントを使用する。						
備 考	特になし						